

10月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[令和元年10月末現在]

令和元年11月12日
茨城県中小企業団体中央会

台風や消費税増税の影響により非製造業の数値が大幅に下落し、全体の数値を押し下げた。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「売上高」は変化がなかったが、「景況」「収益状況」は悪化した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて悪化した。

景況DI

製造業は、前月比で3.8ポイント悪化の-26.9ポイント、非製造業は、前月比で16.7ポイント悪化の-29.2ポイント、全体では、前月比10.0ポイント悪化の-28.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比変化なしの-26.9ポイント、非製造業は、前月比45.8ポイント悪化の-58.3ポイント、全体では、前月比22.0ポイント悪化の-42.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比3.8ポイント悪化の-26.9ポイント、非製造業は、前月比37.5ポイント悪化の-33.3ポイント、全体では、前月比20.0ポイント悪化の-30.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	当月より消費税増税となった。学校給食における消費税はすべて10%になった。増税前に県給食会から通達があったため、大きな混乱は回避できた。
	餡	
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県9月の清酒課税移出数量は、10月1日の消費税増税を見越しての駆け込み購入により、清酒全体で対前年同月比106.6%の増加となった。本格焼酎についても、清酒同様対前年同月比111%となった。反面、好調であった輸出については、8月の全国清酒輸出が対前年同月比97.3%と久々に100を割った。 ○県内当業界について 今年で5回目の10月1日全国一斉日本酒で乾杯イベントを水戸京成ホテルにて行い、茨城県知事をはじめ乾杯条例施行の9市1町の首長・幹部職員にも参加いただいた。当日は乾杯イベントの他、全国唎酒選手権大会茨城予選会、また茨城県清酒鑑評会出品酒の一般公開も行い、250名が来場した。 また、10月11日には台風19号の前日であったが、浅草花やしきにて茨城地酒祭りをを行い、26歳が参加して650名の来場者に地酒と茨城の食を楽しんでもらった。 2つのイベントとも地酒のPRが出来たと考えている。
	納豆	第74回国民体育大会により当月上旬は土産品の売上は良好。しかし、中旬から台風等の影響により売上悪化。また、消費税増税も影響し大変厳しい月だった。 人手不足が深刻で、このままだと操業にも影響するのではないかと心配している。
	菓子	
繊維工業	織物	
	袋物	消費税増税の影響はほとんどなかった。各社とも受注量が増加したものの、一時的な動きであり全体としては厳しい状況である。
	衣服	
木材・木製品	製材	・消費税増税前に上棟した物件に付随して、KD、間柱、筋違、貫、胴縁など羽柄材は動きを見せているものの、構造材などは落ち着いた荷動きとなっている。 ・台風により林道等に被害があり、今後の丸太の出材にも影響が出る可能性がある。 ・プレカット工場の稼働状況は、前月に引き続き落ち着いた動きとなった。 ・輸入材では、構造材・羽柄材の荷動きは順調に推移した。
	県北地区プレカット	台風の影響もあり、出荷予定の見通しが全く立たなくなった。来月出荷の大型物件（当月中旬より加工開始）の受注があり、完成品が溜まる一方で置き場に困っている。また、台風の影響なのか特に合板関係の材料の納期が遅れている。来月分の受注は少々減少したように思われる。今後、年末までの受注が心配である。
	県央地区プレカット	天候不順による影響から着工延期物件が目立ち、加工予定のずれ込みが多くあった。当月下旬より見積もり物件が増加しているため、来月は加工が集中することが見込まれる。
紙・紙加工品	段ボール	当月は2度の台風により、青果物の被害や千葉県内の停電、屋根の破壊や水害等の影響もあり、売上が前年同月と比較して1割以上減少した組合員もいた。県内のビニールハウス等の被害もあり、今後の出荷量に多大なる影響が出そうである。
印刷	総合	地区内組合員の業況等に特段の変化はなかった。
化学・ゴム	自動車部品	当月末に長年事業を営んでいた製造工場1社が、後継者不在・現経営者の高齢化により閉鎖した。工場で使用していた機械設備・雇用していた従業員については、市内の別会社にて業務の引継ぎ及び従業員を雇用している。
窯業・土石製品	県央地区石材	
	県西地区石材	
	コンクリート製品	
	焼物	特に変化はないが、台風による被害等が確認されている組合員がいるので、情報を収集している。当月はイベントが中止になったので、来月のイベントに向けて集客をしたい。
	生コンクリート	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	鉄鋼・金属	鍍金 ・業界全体の景況については、受注量は主な業種は前年同月と比較して1~2割減少した。建築資材関係はかろうじて前年並みである。 ・金属材料は貴金属・ニッケル等は高値安定の状態。亜鉛金属については値段の上下が激しい。工業薬品については、基礎材料を除いて前年並みで大きな変動は無い。 ・電気料金は前年並み、灯油・燃料代は値上がりしている。	
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少した。全体増減率は前年同月比90%であった。得意先の期末在庫削減の方針から、受注量が大幅に減少し、全組合員の売上が減少した。来年1月からは増産の計画が提示されているが、年内いっぱい厳しい状況にある。人員面では余剰感があるものの、1月からの増産予定を見越して維持せざるを得ない。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	前月同様に生産高は前年並みであるが、足踏み傾向にある様子がうかがえる。
		輸送車両	台風21号により組合員が被災した。
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比4.33%減少した。前月同様にシャケ・サンマ・イカ等の不漁が続いており価格が上昇。入荷も少なく高値で推移している。仲卸業者・買受人共に販売に苦慮している。
		県南地区卸	台風15号・19号の影響等により、仕入商品の到着が遅れてしまい売上減少となった。
		食品卸売業	当月は、野菜・果実合計で前年同月比82%の取扱高となった。台風19号は県内各地で河川の氾濫を引き起こし、浸水・冠水被害をもたらした。生産・物流等の面から、組合員各社・各店・生産者等が多大な被害を受けた。市場流通においては、関東産の葉菜類(ほうれん草、ネギ等)が数量減少により高値で推移している。品目によるが、ハウスの倒壊等の影響は今後も続くことが予想される。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比29%と大幅に減少。工事の減少・工法の変化により需要が減少しているが、当月は前年同月が一昨年と比較して14%増加だったことからその反動も影響している。
	小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比88.2%、客数は同94.1%となった。台風の影響により安全を考慮し休業や時間短縮営業を行ったため大変厳しい結果となった。
		県央地区共同店舗	アパレルを中心に前年同月の売上が割り、厳しい月であった。また、退店の影響で全体の売上は前年同月比86%と依然として厳しい状況が続いている。
		県南地区共同店舗	当月は、台風を含め天候の影響を大きく受け、売上不振であった。特に衣料品が大きく売上不振。 売上は前年同月比で、衣料品83.3%、文化品98.2%、食料品99.5%、飲食89.8%、サービス91.2%であった。
		クレジット	
		家電	当月は、消費税増税の影響だと考えられるが、売上は前年同月と比較して減少した。予想はしていたものの厳しさを感じる月であった。 冬商戦がスタートするが、顧客に受けて情報の発信を的確に行い提案営業により挽回を目指したい。
		石油	原油価格が安定して推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比12円の下落となった。台風19号が上陸する前日は各スタンドとも閉店まで給油待ちの長い行列ができたが、大きな混乱もなく営業することができた。また、台風により那珂川周辺のスタンドで数件が浸水の被害を受けた。
		農機具	
		中古自動車	売上高は前年同月比76.5%、販売台数は同76.6%、販売価格は同99.9%であった。消費税増税及び台風被害等の影響により、前年同月比で販売価格に変動は無かったものの販売台数・売上高は大きく減少した。
	飲食品	消費税増税に伴い、消費者は買い控え傾向にあるが、組合員においてはポイント還元5%の実施によりキャッシュレス決済の比率が高い、または高くなってきた店舗においては売上が好調。概ね、消費税増税による大きな売上減少は見られない。特に、たばこ・酒部門で売上が改善している。ただ、国の還元事業のため、手元の現金が減少し、キャッシュフローに影響が出てくる店舗もあることが今後は懸念される。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	商店街	水戸	
		筑西	消費税増税や台風の影響により来客数が減少。それに伴い、売上や収益も減少した。
	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が87.7%、軽自動車が93.3%となり、普通車・軽自動車ともに減少となった。
		ホテル・旅館	9月28日に開幕した第74回国民体育大会の出場選手や関係者の宿泊により、県内各エリアの流入人口は増加し、当月は順調な滑り出しに見えた。しかし、相次いだ台風は想定外の被害と第19回障害者スポーツ大会の中止による宿泊予約全キャンセルという未だかつて経験のない甚大な被害を受け、営業が立ちいかない施設もある。今後の再開も見通しが見えない現状を打開する術もない。
	建設業	総合	今年度も後半に入り、年度末完成工事の発注が最盛期を迎えた。大規模工事とともに小規模工事も多数発注されるが、現場代理人が不足しているため各社とも利益率のよい仕事を得るため受注調整を行っている。ダンピングが発生すると同時に不調入札も発生する状況となっている。
		電気工事	
		管工事	
		交通安全施設	
	運輸業	貨物軽自動車運送	当月の組合員数は118名、車両台数は149台で前月と比較して組合員は変化なし、車両台数は1台増加であった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,996名、車両台数は9,478台で前月と比較して25名減少、25台減少であった。
		県北地区一般貨物	当月より、主要顧客の一部で太陽光パネルの輸送がなくなり、若干物流量が減少となるも、売上高は横這いとなった。輸送運賃については改定(値上げ)していただき価格は多少改善されたが、収益は依然厳しい。また、運転手不足により退職者の補充ができていない。
その他の非製造業			

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	パン給食回数の増加要請
	酒	31年度の需要振興策として、地元(県内)消費に繋がる県内蔵元と連携した施策を要請。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	工事規模、難度に関係なく現場代理人が担当できる現場数が1ないし2か所という縛りが発注者及び受注者の足枷になっている。小規模工事の(特に100万円程度)複数(3箇所以上)の担当はできないのであろうか。

月次景況調査 10月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	10月	9月	前月比	10月	9月	前月比	10月	9月	前月比
景 況	▲ 28.0	▲ 18.0	▲ 10.0	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 3.8	▲ 29.2	▲ 12.5	▲ 16.7
売 上 高	▲ 42.0	▲ 20.0	▲ 22.0	▲ 26.9	▲ 26.9	0.0	▲ 58.3	▲ 12.5	▲ 45.8
収 益 状 況	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 3.8	▲ 33.3	4.2	▲ 37.5
販 売 価 格	2.0	4.0	▲ 2.0	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	▲ 4.1
取 引 条 件	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 8.3

中小企業月次景況調査(令和元年10月)DI値(前年同月比)

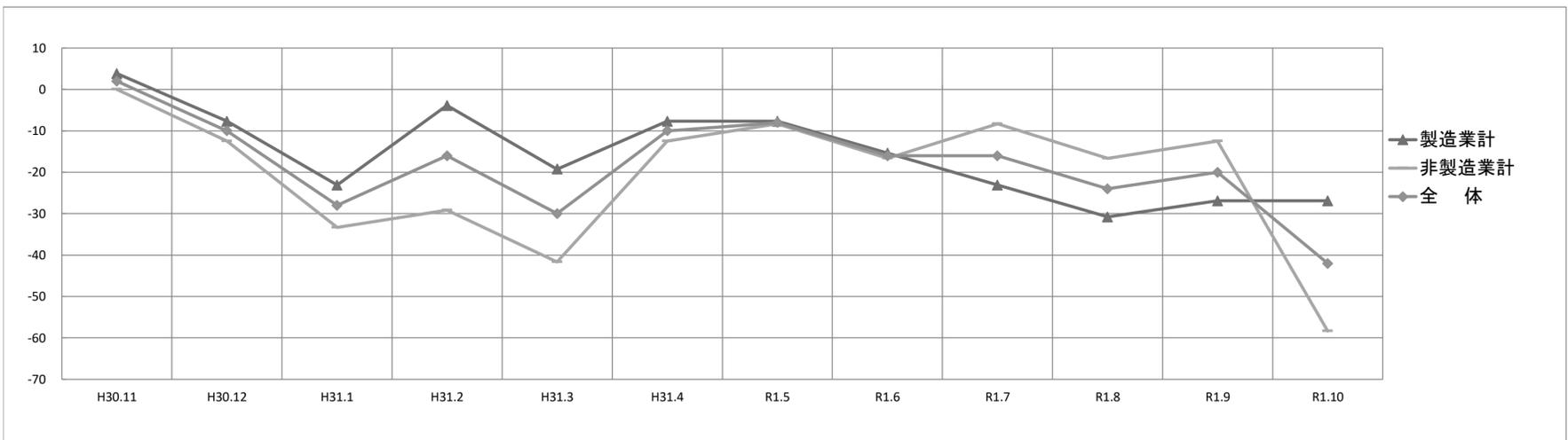
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 50.0	0	3	3	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	0	5	1	6					
	繊維工業	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3					
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3					
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1					
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	窯業・土石製品	△ 20.0	1	2	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5					
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1					
	一般機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	輸送機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
製造業計	△ 26.9	3	13	10	26	△ 23.1	0	20	6	26	0.0	2	22	2	26	△ 3.8	0	25	1	26	△ 26.9	0	19	7	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 26.9	0	19	7	26	
非製造業	卸売業	△ 100.0	0	0	4	4	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4	X	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4				
	小売業 (商店街含む)	△ 63.6	1	2	8	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 36.4	0	7	4	11		△ 27.3	0	8	3	11	△ 36.4	0	7	4	11				
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2	X	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1		2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	建設業	△ 20.0	1	2	2	5		20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0		5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5			
	運輸業	0.0	0	2	0	2		100.0	2	0	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0		2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2			
	非製造業計	△ 58.3	2	6	16	24		△ 26.7	0	11	4	15	4.2	5	15	4	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 33.3	0	16	8	24	△ 25.0	0	18	6		24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 29.2	0	17	7	24			
全体	△ 42.0	5	19	26	50	△ 24.4	0	31	10	41	2.0	7	37	6	50	△ 8.0	0	46	4	50	△ 30.0	0	35	15	50	△ 18.0	0	41	9	50	△ 11.5	1	21	4	26	△ 10.0	1	43	6	50	△ 28.0	0	36	14	50	

D I 値推移表 (H30.11月 ~ R1.10月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
食料品製造業	16.7	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	0.0	▲ 15.0	5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0
製造業計	3.8	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 3.8	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9
卸売業	0.0	▲ 75.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 75.0	25.0	▲ 50.0	▲ 100.0	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	9.1	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0
建設業	▲ 20.0	40.0	▲ 20.0	20.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	0.0	▲ 12.5	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3
全体	2.0	▲ 10.0	▲ 28.0	▲ 16.0	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0

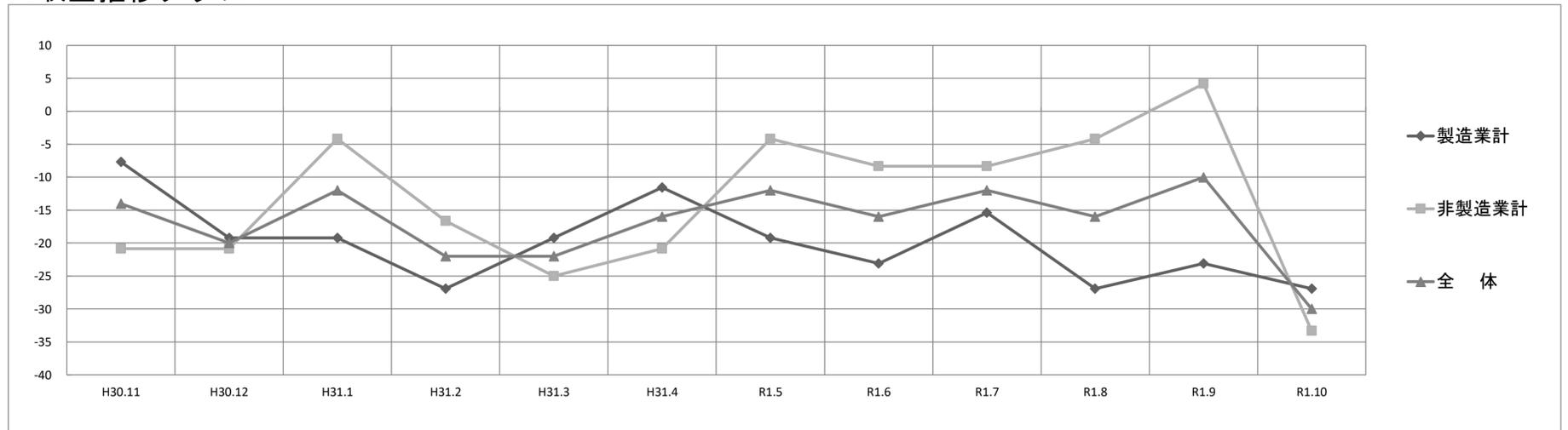
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
食料品製造業	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9
卸売業	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 75.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5
サービス業	▲ 100.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3
全体	▲ 14.0	▲ 20.0	▲ 12.0	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0

《収益推移グラフ》

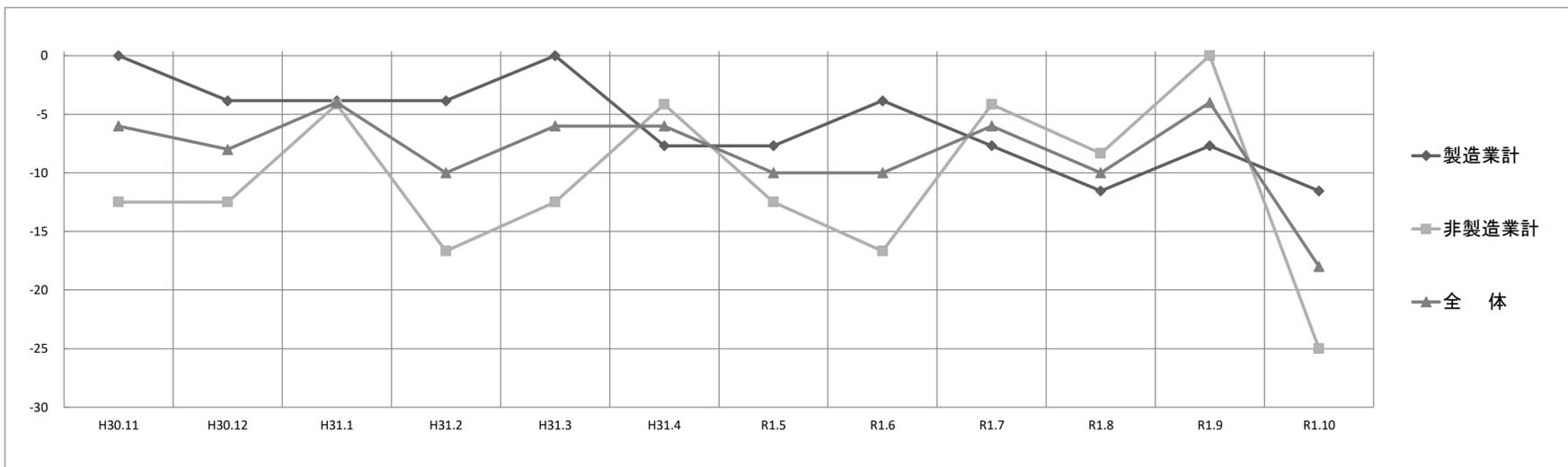


D I 値推移表 (H30.11月 ~ R1.10月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
食料品製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0
製造業計	0.0	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5
卸売業	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0
全体	▲ 6.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
食料品製造業	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9
卸売業	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 75.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4
サービス業	50.0	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2
全体	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 24.0	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0

《景況推移グラフ》

